

## 北朝鮮による核実験を受けて（党声明）

平成 29 年 9 月 3 日  
幸福実現党

北朝鮮が 6 回目の核実験を強行し、水爆実験に「完全に成功した」と発表しました。北朝鮮の核保有国化は断じて容認できず、その野心を挫くべく、政府には、対北制裁強化に向けて国際社会に強く働きかけるとともに、米朝開戦、それに伴う不測の事態も想定した対応を要請します。米軍との共同対処、防衛出動の迅速な決定に万全の態勢で臨むとともに、拉致被害者を含む邦人保護はもちろん、国民の安全確保に遺漏ない対応を求めます。朝鮮半島情勢が緊迫化するなか、在韓邦人への退避勧告も発出すべきです。

わが党が 2009 年の立党以来、一貫して主張する国防強化が急務であることはもはや論をまちません。日米同盟を強化しつつ、「自分の国は自分で守る」体制の構築に向け、憲法 9 条の全面改正、防衛費の倍増による防衛装備の充実強化などを急ぐべきというのが、わが党の考えです。報復能力は専ら米軍に依存してきましたが、今後、米国による核の傘が無効化しかねないことも踏まえ、自衛のための核装備を含む、日本独自の抑止力強化を図らねばなりません。核シェルター整備も急ぐべきです。

なお、憲法 9 条改正には時間を要することから、改憲までの間、わが党が主張する「平和を脅かす国への 9 条適用除外」により有事への備えを万全にすべきです。半島有事の際、自衛隊による拉致被害者の救出を可能とするためにも、政府の決断を求めます。

以上

---